

立志

志をもち
自ら学び
ともに高め合い
逞しく生き抜く



令和6年1月9日(火)発行 校長 川崎 朗

令和6年のスタート!志をもって前進しよう!!

令和6年の年頭にあたり、一言ご挨拶をさせていただきます。全校生徒並びに保護者・地域のみなさま、新年あけましておめでとうございます。旧年中は様々な学校の取組に対して温かいご支援・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年4月に有中最後の1年としてスタートしましたが、早いものでいよいよ残り3ヶ月となりました。10月の文化発表会、12月の人文字撮影など、閉校プロジェクトとして様々な行事や企画に取り組んできましたが、皆様のご支援・ご協力のおかげで、一つ一つが素晴らしい思い出になりました。

令和6年は閉校を迎え、生徒・職員全員が有中から巣立つこととなります。この大きな節目の年の始まりに当たって全員が大きな志をもって前進していきたいと思っています。

最後まで変わらぬご支援・ご協力をお願いします。

令和6年1月9日 校長 川崎 朗

辛く悲しい1年のスタートになりましたが…

元日の16時過ぎ、お正月気分の中でゆっくりとテレビを見ていた中、突然の緊急放送「津波がきます。付近の人は逃げてください」というアナウンサーの言葉、何が起こったのか十分に理解できないまま、ただテレビを呆然と見ていました。時間の経過と共に被害の内容が少しずつ明らかになっていき、翌日朝のニュースで地震でつぶれた家々、火災で多くの家が焼けた地域、津波で流された地域などが報道され、大きな災害であることを改めて知りました。日々増えていく犠牲者や安否不明者の数、つぶれた家の横で家族の救出を見守っている被災者の方の様子などを見る中で、本当に心が締め付けられるような思いで年の始まりを迎えました。

今回の地震の犠牲になられた皆様のご冥福を心からお祈りすると同時に、そのような辛く苦しい状況の中でも、復興のために必死に立ち上がっている人々、それをいろいろな形で支援している人々の状況を知り、自分自身もできることをしたいと思っています。

年末年始で高校生のサッカーやバレーボールの全国大会が連日行われており、その様子がテレビでも放送されています。その中で地元からの応援が来られない石川県の高校に対して相手チームや他県の選手や応援団の人がスタンドで応援している光景を見て、本当に胸が熱くなると共に、高校生の思いの素晴らしさを実感しました。

今回のような未曾有の災害で大きな悲しみがある中ですが、互いに支え合っている被災地の人々の思い、いろいろな形での支援の輪が広がっており、改めて日本人の素晴らしさを感じました。自分自身も微力ではありますが、関わっていきたいという思いを強くしました。皆様も思いは同じだと思えます。少しでも支え合っていければと思っています。

「最高のフィナーレ」に向かう3学期のスタートです!!

今日からいよいよ3学期がスタートします。3学期は1年間の総仕上げの学期であり、次の学年に向かうための準備をする学期でもあるという意味でとても重要な学期です。特に今年の3学期は、1年間の総仕上げであると同時に有明中学校62年間の歴史の総仕上げの学期であります。生徒はもちろん、私たち教職員も一つの学校がその歴史を終えるという場面に立ち会うことはめったにありません。2学期までに閉校プロジェクトで何回かイベントを開催し、保護者や地域の皆様といろいろなお話をさせていただきましたが、それを通してこの学校が有明地域の中でどれだけ大切にされていたのかということを感じています。これまで有明中学校から巣立った約3000名の生徒、その保護者の皆様はもちろん、かつて有明中学校で勤務をしていただいた諸先輩方、そして有明地域にお住まいのたくさんの皆様が有明中学校のことを大切に考えて閉校することを心から惜しんでいただいていることを目の当たりにしました。有中最後のバトンを託された私たちは、「最高のフィナーレ」に向けて閉校までの50日間、有明中学校への「感謝と惜別」の思いをもって過ごしていきたいと願っています。最後まで「さすが有中生」といってもらえるように、「*Chance Challenge Change*」で日々の学校生活で何事も自分を高める機会と捉え、精一杯挑戦し、自分や集団を成長させていきたいと思っています。そして、有中生とのキャッチフレーズである「さわやかな笑顔、輝くひとみ」を全員が自分の心の支えとして歩んでほしいと思っています。そして3月に全員が有中から巣立ち、4月から始まる次のステージに向かって大きく飛躍します。

3学期の有明中学校のテーマは「最高のフィナーレ」と「*Next Stage*」です。

何事にも終わりがあります。しかし、終わりは次の始まりに向けての大きな節目だと思っています。有明中学校の閉校というゴールは全員の次のステージに向けてのスタートラインなのです。そのためにもこの3学期を一人一人が大切過ごしてほしいと思っています。

3年生はいよいよ、私立高校や県立高校の入試も始まり、自分自身が決めた進路の実現に向けての最終段階となります。2年生は部活動や生徒会活動など、有明中学校をリードする立場です。1年生は中学校生活を1年間経験し、上級生となる準備の時期です。4月には新しい白石中学校の一員となります。残り少ない有明中学校での学校生活ですが、今の学校や学年を振り返り、次に向けて今なすべきことを全力で頑張してほしいと思います。

「努力をした者が成功するとは限らない。しかし、成功する者は必ず努力をしている」この言葉は、音楽家ベートーベンの言葉だと言われています。努力をしても結果がでないこともあります。しかし、努力をしないで成功することはあり得ません。さらに言えば、どんな結果になっても努力した事実と経験は消えません。ですから仮に、報われなかったとしても努力したことは無駄ではありません。努力した分だけ成長できるでしょう。努力を通して、知識や技術を身につけることができたはずです。一番大切なのは、結果よりも努力することそのものです。一人一人が志をもち、目標の実現に向けて挑戦してください。努力は必ず成長させてくれます。

3学期のおもな行事を紹介します。見通しを持って学校生活を送ってください。

- 1月 始業式(9日) 2・3年実力テスト(10・11日) 県内私立前期入試(18日)
- 2月 県内私立後期入試(1日) 県立特別選抜(6日)
1・2年学年末考査(14~16日) 3年マナー給食(14日)
- 3月 県立一般選抜(5・6日) 1・2年クラスマッチ(5・6日)
2年先輩に学ぶ(5日) 第62回卒業証書授与式(8日)
令和5年度修了式(22日) 閉校式(23日)

